

1. 狙い・方向性

- 成長分野における実践的な職業能力の評価・認定制度（キャリア段位制度）
- 当面、①介護プロフェッショナル ②カーボンマネジャー（省エネ・温室効果ガス削減等人材）
③食の6次産業化プロデューサーの3分野について実施。

2. システム・評価方法

- エントリーレベルからトップ・プロレベルまでの7段階で評価
- 「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面で評価
- 「わかる(知識)」の評価
→ 原則として、認証された「育成プログラム」の履修により評価
- 「できる(実践的スキル)」の評価
 - ① 介護プロフェッショナル: OJTを通じて評価
(例: 入浴介助・排泄介助などの基本介護技術、事故発生防止等)
 - ② カーボンマネジャー: これまでの実務経験・実績により評価
(例: 省エネ法の定期報告書等)
 - ③ 食の6次産業化プロデューサー: これまでの実務経験・実績により評価 (例: 6次産業化の事業の売上、商品数、雇用者数等)

レベル		各レベルの特徴
プロレベル	7	・分野を代表するトップ・プロフェッショナル
	6	・プロレベルのスキル
	5	・高度な専門性、オリジナリティ
	4	・一人前の仕事ができる ・チーム内でリーダーシップ
	3	・指示等がなくとも、一人前の仕事ができる
	2	・一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる
	1	・職業準備教育を受けた段階

カーボンマネジャーの人材像

資料 1 - 2

レベル	分野共通	カーボンマネジャーのレベル	業務内容	企業内等における人材イメージ
プロレベル	7 トップ・プロフェッショナル	・「 <u>トップ・プロフェッショナル</u> 」としての能力を有するレベル		・コンサル会社のシニアコンサルタント ・専門法人に所属する高度専門家(専門機関の主任審査員など)
	6 多大な実績	・「 <u>他社への専門・高度なサービスの提供</u> 」や「 <u>他社同士の連携の支援・調整</u> 」を実践できるレベル	・総合管理、戦略策定等(他社向け) ・第三者審査・検証(プロジェクトベースの審査) ・排出削減技術の実践等(多専門分野、他社向け)	・専門法人に所属する高度専門家(専門機関の主任審査員など)
	5 ・高度な専門性・オリジナリティ ・顧客等から認知・評価されている	・「 <u>他社への有料サービスの提供を実践できる</u> 」レベル		・コンサル会社のコンサルタント ・メーカー、ESCO会社のシニアスタッフ ・審査機関の審査員
	4 ・一人前の仕事ができる ・チーム内でリーダーシップ	・自社等において責任を持って「 <u>チームへの指示・指導を実践できる</u> 」レベル(プロレベル)	・総合管理・戦略策定等(自社等) ・第三者審査・検証(エンティティベースの審査) ・設備に係るエネルギー管理(自社・大規模設備)	・経営企画マネージャー ・エネルギー・環境・CSR担当部マネージャー
3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる	・省エネ・温室効果ガス削減等に関する「 <u>応用技術を実践できる</u> 」レベル	・排出削減技術の実践等(一分野、自社向け、プロジェクトベース) ・設備に係るエネルギー管理(自社(業界内複数)・中小設備)	・施設管理部スタッフ ・エネルギー・環境・CSR部スタッフ ・総務部スタッフ
2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる	・省エネ・温室効果ガス削減等に関する「 <u>基礎技術を実践できる</u> 」レベル	・排出量・削減量の算定等(エンティティベース) ・設備に係るエネルギー管理(自社・中小設備)	・施設管理部スタッフ ・エネルギー・環境・CSR部スタッフ ・総務部スタッフ
1	職業準備教育を受けた段階	・省エネ・温室効果ガス削減等に関する「 <u>各種制度、代表的手法などを理解できる</u> 」レベル	・制度・手法の理解	・営業マン ・エネルギー・環境・CSR部スタッフ ・法務部、総務部、施設管理部スタッフ

- ・「わかる(知識)」 → 育成プログラムの履修及び試験により評価
- ・「できる(実践的スキル)」 → 実務経験・実績により評価

レベル	わかる(知識)	できる(実践的スキル)
7	当面、レベル5～7の認定は実施しない	
6		
5		
4	・34時間の <u>研修及び試験</u> により評価 内容例: ・省エネ法の定期報告書・中長期計画書の作成 ・GHG排出削減量の算定・報告 ・排出削減計画書(PDD)の作成	・ <u>業務実績の事例2件以上</u> により評価 ※社内におけるチームリーダー等の立場で業務の責任者の立場で、的確に業務遂行ができていると認められることが認定要件
3		・ <u>業務実績の事例1件</u> により評価 ※上司の指示等がなくとも、的確に業務遂行ができていると認められることが認定要件
2		・ <u>レベル2のわかる(知識)の研修の中で実施される演習</u> により評価 ※省エネ法の定期報告書等について、一定の指示に従い、的確に求められる計算を行い、報告書等の作成ができていると認められることが認定要件
1	・43時間の <u>研修及び試験</u> により評価 ※内容例: 各種制度の理解、代表的手法の理解	

項目	講義内容
(1)オリエンテーション 【1時間】	① カーボンマネジャーに関する制度・役割、キャリアプラン、社会的意義 ② 環境倫理 等
(2)省エネ 【15時間】	① 省エネに関する総合管理(企画・立案、指示、提言等) ② 中長期も含めた基本戦略策定(各種規制・リスクへの対応やCSR推進) ③ 省エネ法の定期報告書・中長期計画書の内部検証 ④ エネルギー管理標準の内部検証 ⑤ 演習
(3)温室効果ガス削減 【15時間】	① 温室効果ガス削減等に関する総合管理(企画・立案、指示、提言等) ② ISO14064-3(概念理解) ③ 中長期も含めた基本戦略策定(各種規制・リスクへの対応やCSR推進) ④ 多様な排出削減方法論の理解、新規方法論の作成 ⑤ 排出削減計画書の内部審査 ⑥ 第三者審査・検証 ⑦ 演習
(4)修了テスト 【3時間】	※ 総研修時間:34時間

実績の認定要件

省エネや温室効果ガス削減等に関する総合管理、基本戦略策定等の業務について、業務の実施方針を立て、チームに必要な指示等を行い、自らの名前で文書を取りまとめるなど、社内におけるチームのリーダー等の業務の責任者の立場で、的確に業務遂行ができていると認められること。

提出書類の種類例(2件以上を提出)

- ・省エネの定期報告書及び中長期計画書の作成責任者としての業務
- ・省エネ法の管理標準の作成責任者としての業務
- ・省エネ機器の管理、監督について現場責任者としての業務
- ・省エネ機器の商品企画、設計、製造 又は 品質保証活動のチームリーダーとしての業務
- ・省エネ機器の営業活動のチームリーダーとしての業務
- ・省エネの推進活動のチームリーダーとしての業務
- ・省エネプロジェクトの提案活動のチームリーダーとしての業務
- ・東京都など地方自治体の条例に基づく排出量削減提出書類の作成責任者としての業務
- ・排出削減プロジェクト計画書の作成責任者としての業務(JVETS、JVER、国内クレジット)
- ・省エネ・温室効果ガス削減戦略策定責任者としての業務(CSR報告書、CDP書類、SRI書類)
- ・国内クレジット審査業務
- ・カーボンオフセット(JVER)審査業務
- ・JVETS審査業務
- ・CDM審査業務

